

大切な命を守るために

5/28

消防団員が山岳行方不明者捜索訓練を行いました



地図とコンパスを基に目的地を割り出す消防団員

静岡市消防局島田消防署と川根本町消防団山岳捜索隊員は、山岳行方不明者を想定した捜索訓練を実施しました。訓練は、午前中、山村開発センターにて講師の南アルプスクラブ理事でJOAインストラクターの増田^{ますだ}正明^{まさあき}さんから地図読みやナビゲーションの屋内講習を受け、午後は山を歩きながら実践形式で知識を身につけました。

山歩きではグループに分かれ、地図とコンパスを基に現在地を割り出したり、先の地形を推測したうえで安全かつ最適な捜索ルートをたどるための方法について学びました。

三園交流アクアリズム教室

6/6

園児たちがプールで身体機能向上のための訓練を行いました

6月1日より、B&G海洋センターにてプールが始まったことに伴い、桜保育園・三ツ星保育園・聖母保育園の三園合同で「アクアリズム教室（幼児運動プログラム）」が開催されました。この教室は、幼少期からの身体機能向上を目指し、楽しみながら身体を動かすことを目的としています。

この日、園児たちは音楽に合わせて体操をした後、海洋センター職員の指導の下、大きなビート板を使って水泳の練習をしたり、カラーボールを使って水中運動をしました。園児たちからは笑顔が溢れていました。



バタ足の練習をする園児たち

子どもの健康を考える

6/14

幼児親子クッキングが開催されました



町管理栄養士から作り方を教わるお母さんたち

町内藤川地区にある、子育て支援施設「ひだまり」では、離乳食後期から完了期の子どもたちに向けたレシピの紹介として、「親子クッキング」が開催されました。この日、9組の親子が参加し、「食べ過ぎ対策」や「少食対策」について、食事の時間や活動量に合わせたレシピ作りの重要性など、町管理栄養士から説明を受けました。

その後、調理実習を行い、「赤ちゃんソーセージ」や「野菜ジュースのパンケーキ」など、全部で4品の作り方を学びました。

災害時のガス供給に関する覚書の締結

5/16

円滑なガス供給に向けた覚書の締結がされました



覚書を締結した藺田町長と松島和徳地区長

静岡県LPガス協会北榛原地区会と川根本町は「災害時の円滑なガス供給に向けた覚書」を締結しました。同覚書は、災害時に町が必要とするLPガスの供給を受け、被災者の生活基盤を確保することを目的としています。覚書には、対象の施設や事業所と必要なLPガスの供給量などをリスト化し、情報共有を図ることを盛り込みました。

藺田町長は、「昨年の台風被害で周囲の協力の重要性を感じた。LPガスの提供が確保され心強い」と話しました。

更生保護の活動が評価されて

5/18

更生保護功績、原田全修さんに藍綬褒章が授与されました

はらだまさお
原田全修さん（瀬平区）が藍綬褒章を受章し、藺田町長に報告しました。原田さんは、地域貢献したいという思いから1999年に保護司を引き受けました。更生保護の活動をする上で意識したことは、「相手の強みを理解し、相手の長所を直接言葉で伝えることで自信につなげてもらう」ことと話し、「時には自然豊かな場所へ一緒に足を運び、心を開いてもらうことで社会復帰の後押しを行ってきた。活動を支えてくれた更生保護女性会の仲間や支えてくれた家族に感謝します」と受章を喜びました。



受賞を報告する原田全修さん(右)と藺田町長

台風第15号復興支援の感謝を込めて

5/24

災害復興支援団体「OPEN JAPAN」に感謝状が贈呈されました



感謝状を受け取るOPEN JAPANの皆さん

昨年の台風第15号災害において、川根本町ではこれまでに経験したことのない大雨と多くの土砂災害に見舞われました。当町における災害復興として、全国各地で災害支援としてご活躍をされている「一般社団法人OPEN JAPAN」の皆様へ、町長と社会福祉協議会長から感謝状が贈られました。

当団体の代表、肥田浩ひだひろしさんは、「今後は町民自身で災害対策ができるような仕組み作りと環境を整備していくための支援を行っていききたい」と話しました。